セフィット

可動間仕切収納
LDKタイプ

取扱説明書

■ このたびはセフィット製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
■ この説明書には、本製品の使いかたと使用上の注意事項を記載しています。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。
■ お読みになった後は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

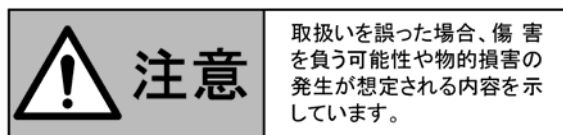
目次

アクシス株式会社

■　注意記号について

安全のため必ずお守りください

■ 本商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ず知っておいていただきたい項目です。

取扱いを誤った場合、傷 害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

してはいけない「禁止」を示しています。

必ず実行していただく「指示」を示しています。

⚠注意　安全上のご注意　けがや事故、火災などを防ぐために

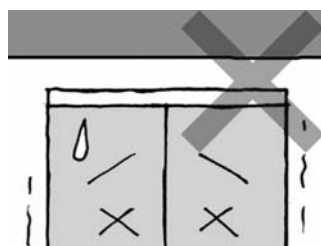
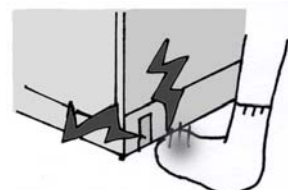
本体の中に入ったり 扉や棚板にぶら下がったりしない

変形や破損による転倒などケガの恐れがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

扉の開閉は 静かにゆっくり行う

扉を持って閉めたり、扉の隙間などに指を入れたまま扉を開けたりしますと、指はさみなどケガをする恐れがあります。

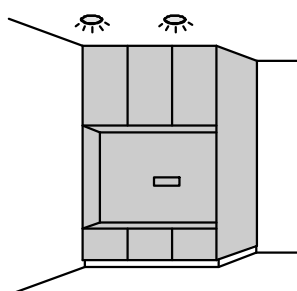
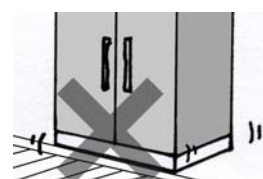
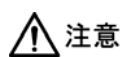
かならず天井に突っ張って設置する

本体を天井にしっかり突っ張っていない場合、背が高いため本体を押すとグラつくなど、安全性に欠ける場合があります。

必ず天井にしっかり突っ張ってご使用ください。

設置場所に注意する

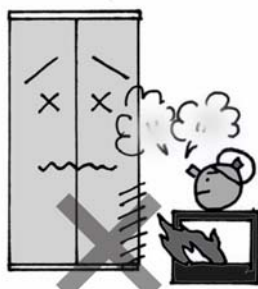
ダウンライト等、高温になる照明器具の真下で固定しないで下さい。焼け、火災の恐れがあります。

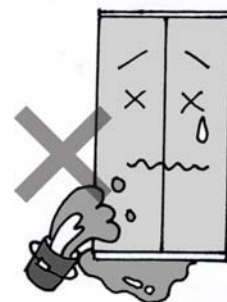
収納本体の移動は慎重に行う

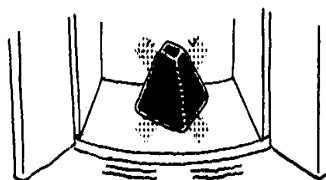
移動の際、手や足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納本体と照明器具・感知器・ドア枠・梁などがぶつからないよう注意しながら移動してください。

床見切・敷居など３㎜以上の段差を超える移動は、本体破損の原因となります。
収納本体に直接衝撃が加わらないよう、板等を敷いた上を移動させてください。

⚠注意　使用上のご注意１　お住まいや商品・収納物の破損や事故をふせぐために

ストーブなどの熱源を近づけない

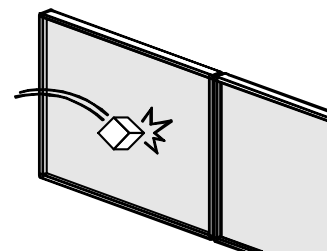
直接温風をあてないで下さい

水濡れしないように注意する

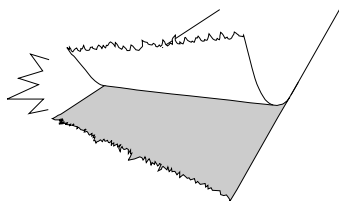
水に濡れると変質する恐れがあります。
水がかかったりこぼれたりした場合はすみやかに拭き取ってください。

重量物を収納しない

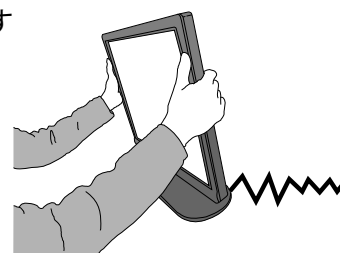
商品各部の耐荷重以上収納すると破損する恐れがあります。
また収納物は集中して置かず棚板に均等になるよう収納してください。

各部の耐荷重目安はＰ6～8「各部のなまえ」をご覧ください。

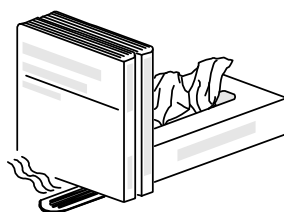
強い衝撃を与えない

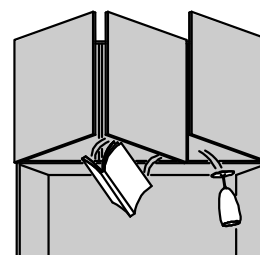
ガラス扉はフィルム貼り熱処理ガラスですが、強い衝撃を与えると破損する恐れがあります。

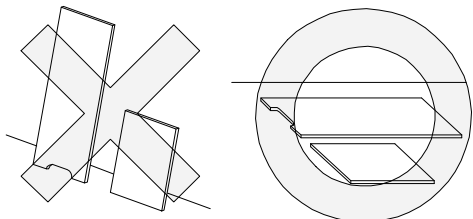
また、ガラス裏面には飛散防止フィルムが貼られています。先の鋭いもので引っかくとフィルムが破れることがありますのでご注意ください。

粘着の強いテープなどを貼り付けない

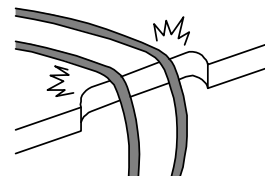
表面のはがれ・破損の原因となります。

固い物でカウンターをこすらない

キズが付く恐れがあります

放熱カバーの上に物を置かない

放熱カバーの上に物を置かないでください。
ＡＶ機器の放熱の妨げになります。

落下や飛び出しがないように収納する

上部収納の収納物の落下にご注意ください。

配線作業で外した部材は立てかけない

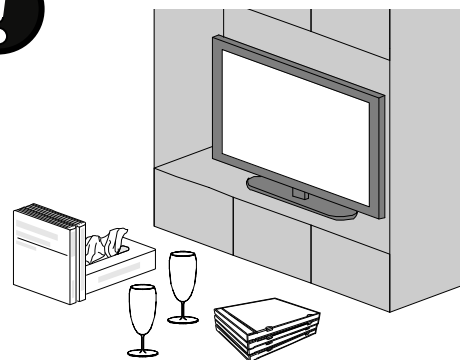
部材の反りや転倒による破損の原因となります。
かならず平置きしてください。

コード類を無理に引っ張らない

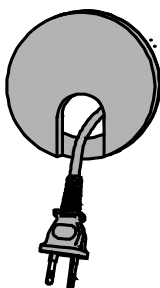
配線孔は角が鋭い部分があります。無理に引っ張ったり押え付けたりすると断線する恐れがあります。

また、手指のケガ等にも十分ご注意ください。

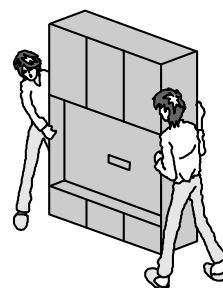
⚠注意 使用上のご注意 2 収納移動時のご注意

移動する際は、収納本体に固定したテレビやテレビに接続した機器類以外の収納物はすべて取り出す

床面へのキズ・へこみ、キャスター破損の原因となります。

また、グラスなどのこわれ物や不安定な収納物は特にご注意ください。破損や落下の原因となります。

コードは格納する

コード類が接続されている場合はプラグを抜いて収納に格納してください。

移動はかならず2名以上で行う

移動する際は必ず２人以上で行って下さい。壁や家具を傷める恐れがあります。

お願い

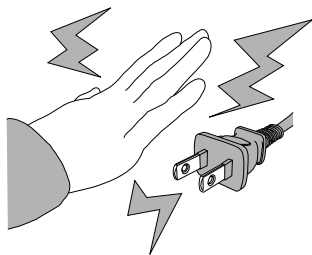
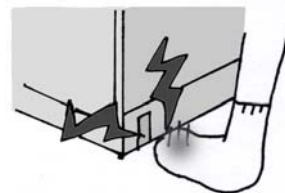
お手入れ方法について

表面が汚れたときは、柔らかい布を家庭用中性洗剤を薄めた水にひたし、よく絞ってから軽く拭き仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。

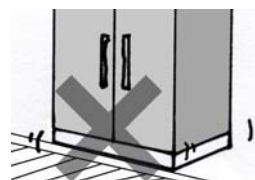
化学ぞうきんをお使いの際は、ぞうきんの注意書きに従ってください。
静電気による汚れは、耐電防止剤入りのＯＡクリーナーで拭き取ることをおすすめします。

シンナー・ベンジン等は変色やひび割れの原因となりますので使用しないでください。

収納した電化製品のコンセントにごみやほこりが付着しないように定期的に清掃する

ごみやほこりを放置したまま使用すると、火災、ショート、感電、漏電の原因となる恐れがあります。

収納本体の移動は慎重に行う

移動の際、手や足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。

また、収納本体と照明器具・感知器・ドア枠・梁などがぶつからないよう注意しながら移動してください。

床見切・敷居など３㎜以上の段差を超える移動は、本体破損の原因となります。
収納本体に直接衝撃が加わらないよう、板等を敷いた上を移動させてください。

不具合箇所は無理に直さずご相談を

可動部のガタツキ、異音等不具合箇所がある場合は、まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

相談先がなくお困りの場合は弊社までご相談ください。

アクシス株式会社　セフィットお問い合わせ窓口 ０１２０−３４８−２２５

各部のなまえ１ TV-BOX 壁掛けプラン(TVK)

この図は代表的なものです。お客さまがご使用になるものとは異なる場合があります。

前面(TV設置面)

天井スペーサー
天井との隙間を調整します

固定棚
耐荷重はサイズにより異なります
(W12・W13・W19:40kg W16:60kg)
奥行き:506.5mm

間仕切りパネルA
テレビ壁掛け金具を直接固定できます
後面中央の間仕切りパネルCは
配線時に取り外すことができます

カウンター
耐荷重はサイズにより異なります
(W12・W13:30kg W16:45kg W19:65kg)
※間仕切りパネルに壁掛したテレビ重量含む
奥行き:542mm(有効:前/後:210mm)

台輪
ジャッキアップキャスターが内蔵された
地板と台輪が一体になったユニットです

ジャッキアップハンドル(フタ)

天板

ウォール扉
扉の下部に手をかけて開閉します
(プッシュオープン式ではありません)

ウォール可動棚
1枚あたりの耐荷重は10kgです
高さの調節ができます
奥行:237mm
※追加注文可能です ⇒P12

仕切板
上部の仕切板

ベース扉(前)
アルミフレームのガラス扉です
戸先上部を軽く押して開閉する
プッシュオープン式です

ベース棚板
1枚あたりの耐荷重は20kgです
収納するものが大きく納まらない場合は
棚板を外すことができます
奥行:375mm

小仕切板
下部の仕切板

後面

中仕切桟(内部)
前後のパネルを連結する
補強用の桟です

間仕切りパネルC
テレビ背面から配線する際取り外します

メンテナンス扉
内部にあまったコード類を収納できます
扉下部に手をかけて開閉します
(プッシュオープン式ではありません)

小仕切扉
メンテナンス扉と小仕切扉を開いて
背面から機器類に配線を行います
戸先のクッション材に配線を通します

固定板
キャビネット補強用の板

側板

飾り棚
1枚あたりの耐荷重5kgの
軽量用棚板です
テレビ背面から配線する際
最初に外します
奥行:155mm

カウンター(小)
テレビ背面から配線する際
飾り棚の次に外して作業します

配線孔
電源コードやアンテナ線を引き出します
左右側板それぞれに空いています
カバーキャップ付

収納部寸法

MP1-13TVK(MP1-12TVK)	MP1-16TVK	MP1-19TVK

設置できるTV:～42 型	設置できるTV:46～52 型	設置できるTV:～65 型

各部のなまえ 2　TV-BOX 据置きプラン(TVS)

この図は代表的なものです。お客さまがご使用になるものとは異なる場合があります。

前面（TV設置面）

天井スペーサー
天井との隙間を調整します

固定棚
耐荷重はサイズにより異なります
(W12・W13・W19:40kg　W16:60kg)
奥行き:506.5mm

間仕切りパネルA
中央から幅55ミリの範囲のみビスが効くので
テレビ固定フックやバンドを固定することができますが
テレビ壁掛け金具を直接固定できません
後面中央の間仕切りパネルCは
配線時に取り外すことができます

カウンター
テレビを付属のスタンドで据置き設置します
全面ビスが効くので、スタンドの固定が可能です
耐荷重はサイズにより異なります
(W12・W13:30kg　W16:45kg　W19:65kg)
奥行き:542mm(有効:402mm)

台輪
ジャッキアップキャスターが内蔵された
地板と台輪が一体になったユニットです

ジャッキアップハンドル（フタ）

天板

ウォール扉
扉の下部に手をかけて開閉します
(プッシュオープン式ではありません)

ウォール可動棚
1枚あたりの耐荷重は10kgです
高さの調節ができます
奥行:480mm
※追加注文可能です　⇒P12

仕切板
上部の仕切板

側板

ベース扉（前）
アルミフレームのガラス扉です
戸先上部を軽く押して開閉する
プッシュオープン式です

ベース棚板
1枚あたりの耐荷重は20kgです
収納するものが大きく納まらない場合は
棚板を外すことができます
奥行:375mm

小仕切板
下部の仕切板

後面

FIXパネル
扉と同じデザインのバックパネルです
開閉することはできません

扉取付桟
扉を取り付けるための桟です
間仕切りパネルと固定棚を補強しています

メンテナンス扉
内部にあまったコード類を収納できます
扉下部に手をかけて開閉します
(プッシュオープン式ではありません)

小仕切扉
メンテナンス扉と小仕切扉を開いて
背面から機器類に配線を行います
戸先のクッション材に配線を通します

固定板
キャビネット補強用の板

配線孔
電源コードやアンテナ線を
引き出します
左右側板それぞれに
空いています
カバーキャップ付

収納部寸法

MP1-13TVS(MP1-12TVS)	MP1-16TVS	MP1-19TVS

設置できるTV:～42 型	設置できるTV:46～52 型	設置できるTV:～65 型

各部のなまえ 3 LD-BOX

この図は代表的なものです。お客さまがご使用になるものとは異なる場合があります。

オープンプラン（LDB）

前面

ウォール扉
木製扉
扉の下部に手を掛けて開閉します
（プッシュオープン式ではありません）

可動棚
1枚あたりの耐荷重は20kgです
奥行き：480mm
※追加注文可能です　⇒P12

固定棚
1枚あたりの耐荷重は20kgです
奥行き：506.5mm

カウンター
1枚あたりの耐荷重は30kgです
奥行き：542.5mm

ベース扉
木製扉
戸先上部を軽く押して開閉する
プッシュオープン式です

ジャッキアップハンドル（フタ）

側板

天井スペーサー
天井との隙間を調整します

天板

FIXパネル
扉と同じデザインの
バックパネルです
開閉することはできません

後面

台輪
ジャッキアップキャスターが内蔵された
地板と台輪が一体になったユニットです

トールプラン（LDT）

前面

天板

FIXパネル
扉と同じデザインの
バックパネルです
開閉することはできません

後面

側板

天井スペーサー
天井との隙間を調整します

トール扉
木製扉
戸先を軽く押して開閉する
プッシュオープン式です

可動棚
1枚あたりの耐荷重は20kgです
奥行き：480mm
※追加注文可能です　⇒P12

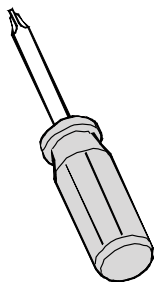
ジャッキアップハンドル（フタ）

台輪
ジャッキアップキャスターが内蔵された
地板と台輪が一体になったユニットです

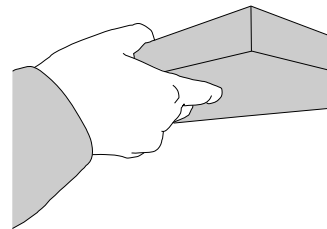
収納本体昇降の仕組み

使用方法 1　棚板の移動

作業にはドライバーが必要です

作業をする際は周囲に物がない安全な場所で行ってください。

ベース棚板

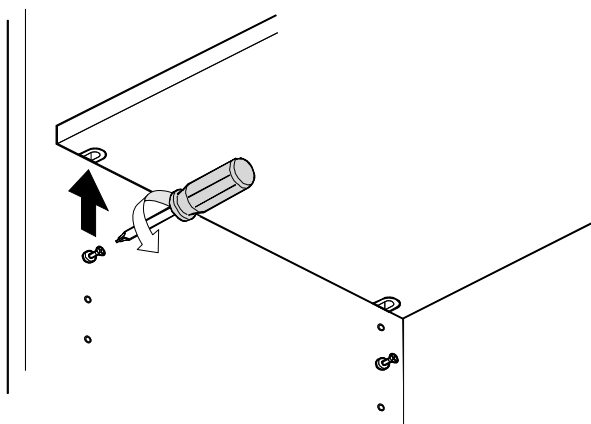
背の高いゲーム機などを収納する際、外すことができます。

外した後、棚ダボや棚板は次に使用するまで大切に保管してください。

可動棚

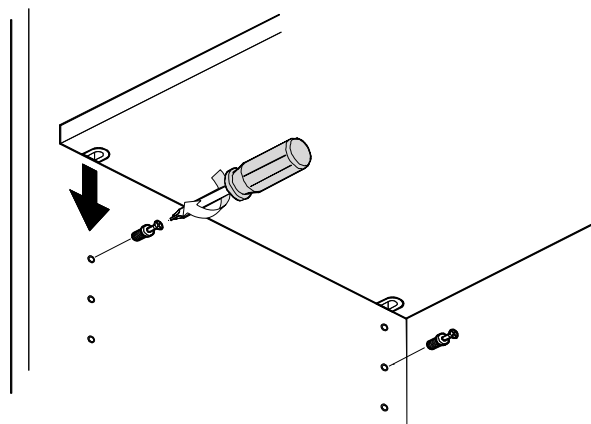
移動ができます。また、追加注文が可能です　⇒P12

【外し方】

① 棚板を上方向にまっすぐ押し上げて外します。

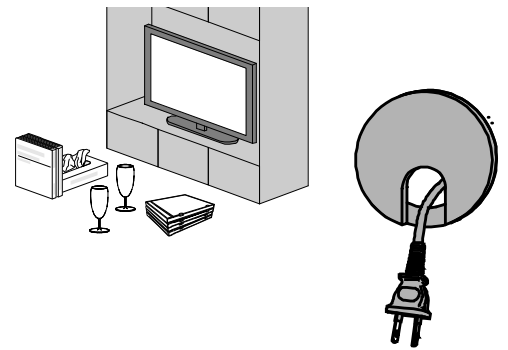
② シャフトをドライバーでゆるめて外します。

【取り付け方】

① お好みの高さのパーツ取付穴にドライバーでシャフトを固定します。

② シャフトの上方から棚板を差し込みまっすぐ下ろします。

使用方法 2 収納本体の移動

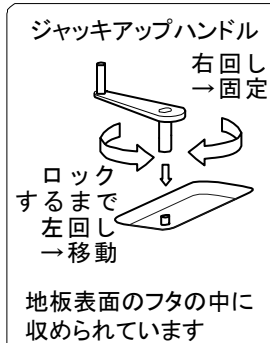
1. 移動準備

移動する際は、収納本体に固定したテレビやテレビに接続した機器類以外の収納物はすべて取り出して下さい。床面へのキズ・へこみの原因となります。また、グラスなどのこわれ物や不安定な収納物の破損や落下の原因となります。

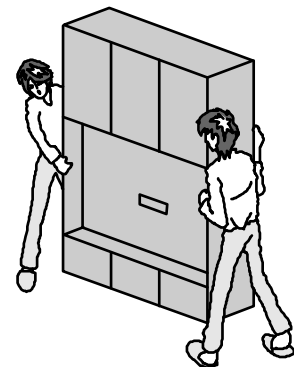
また、コード類が接続されている場合はプラグを抜いて収納に格納してください。

2. 収納本体を可動状態にする

①ジャッキアップハンドルのふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

②ハンドルがロックするまで左回りに回します。

収納本体が下がり、キャスターが床面に接地し移動することができます

3. 収納本体移動する

収納本体を設置場所へ移動します。

> **⚠ 注意**
> 移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
> また、収納本体と照明器具、感知器 などがぶつからないよう注意しながら 動かしてください。

4. 収納本体固定する

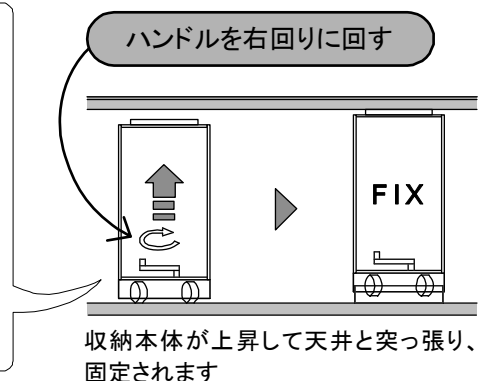
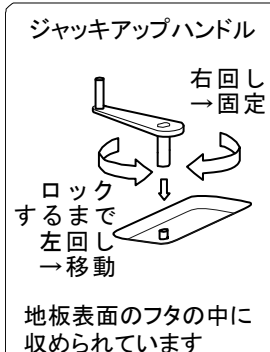
収納本体が天井に突っ張るまで、ジャッキアップハンドルを右回りに回します。

> **⚠ 注意**
> ハンドルを回しすぎると収納本体が 天井を押し上げてしまう恐れがあります。
> 天井スペーサー（軟質材）が天井に スキマなく当たったところでハンドルを 止めてください。

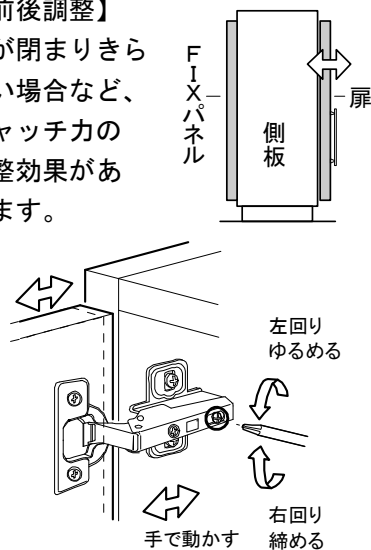
地板表面のフタの中に
収められています

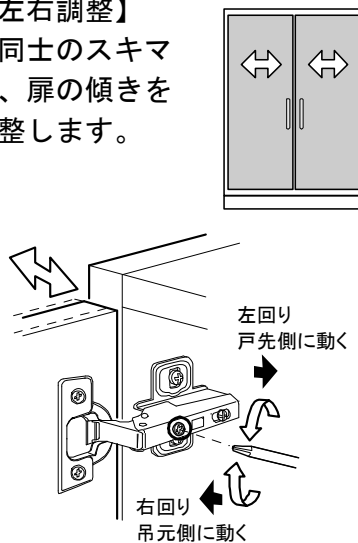
ハンドルを右回りに回す

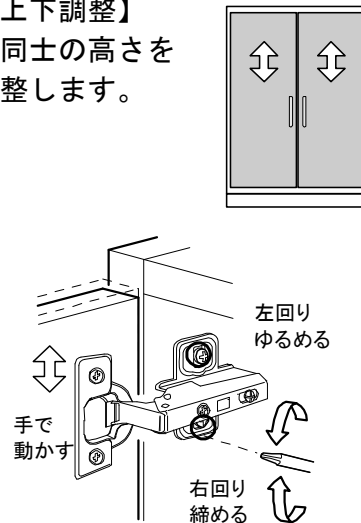
FIX

収納本体が上昇して天井と突っ張り、固定されます

使用方法 3　蝶番の調整

扉の調整方法

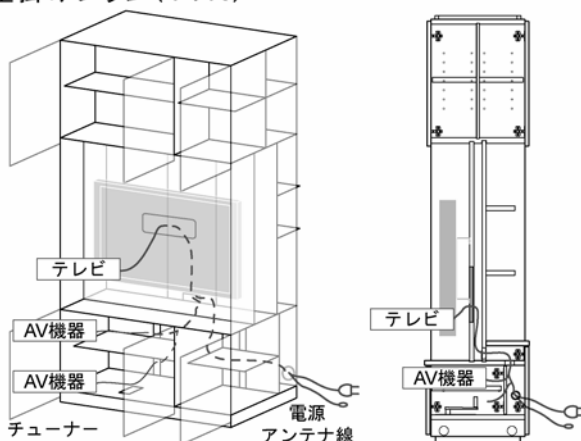
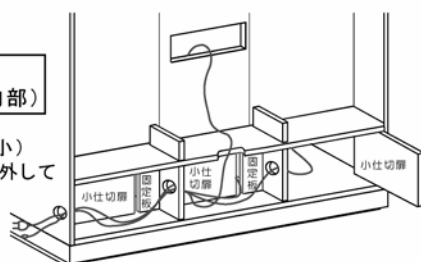
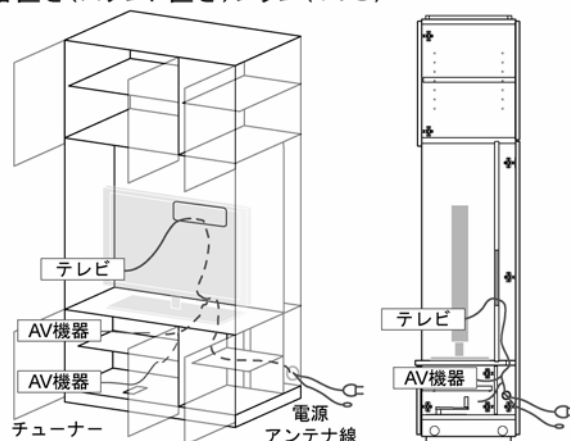
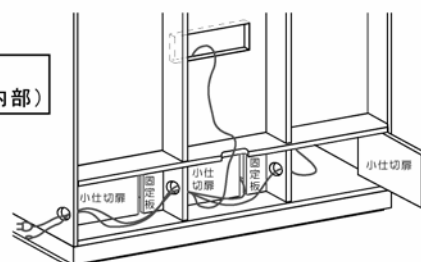
【前後調整】
扉が閉まりきらない場合など、キャッチ力の調整効果があります。

左に回してビスをゆるめ、扉を手で動かして扉の前後を調整します。調整後、右に回してビスを締め、しっかり固定します。

【左右調整】
扉同士のスキマや、扉の傾きを調整します。

左に回すと、扉は戸先側(取手が付いている方向)に動きます。右に回すと、扉は吊元側に動きます。
※調整範囲：±2 ミリ

【上下調整】
扉同士の高さを調整します。

左に回してビスをゆるめ、扉を手で動かして扉の上下を調整します。調整後、右に回してビスを締め、しっかり固定します。

使用方法 4　テレビの取付と配線

詳しくは別紙「テレビ配線取付説明書」をご覧ください（ホームページでご覧いただくことができます）

配線イメージ

■ ユーザーサポート

アフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、お買い上げの販売店・施工店へお申し付けください
相談先がなく、お困りの場合　アクシス株式会社　お問い合わせ窓口　0120-348-225　までお問い合わせください

商品の保証

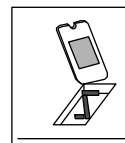
この商品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。施工説明書に従って正しい施工が行われ、取扱説明書、本体注意表示等に従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合は、別添の「インフォメーションシート」に記載の弊社出荷日より2年間、以下の保証規定により無料で修理を行うことをお約束します。

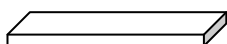
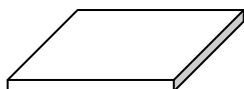
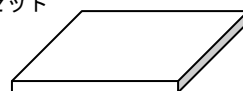
【保証規定】

１．施工説明書、取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は無料で修理いたします。
２．保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
（１）取扱上の不注意、誤用による故障及び損傷
（２）移動時の衝撃等による故障及び損傷
（３）商品を購入された施工店または弊社以外による修理、改造等による故障及び損傷
（４）本商品以外の住宅の構造体、構成部材及び地盤のゆがみ等による故障及び損傷
（５）火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、治安の混乱等による故障及び損傷
３．消耗品類は本保証規定による保証の対象とはなりません。
４．本商品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
５．本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

■ パーツのご注文

- 本商品はミリ単位のオーダーメイドです。追加カスタムパーツをご注文の際は、注文IDまたは邸IDが必要となります。
- カスタムパーツのご注文はインターネット・お電話・FAX・郵送で承ります。

《注文ID・邸ID記載箇所》
◆ジャッキアップハンドルのフタの裏
◆インフォメーションシート
◆追加パーツオーダーフォーム

カスタムパーツ ・ 追加パーツ

TV−BOX　壁掛けプラン
ＴＶＫウォール棚板セット

TV−BOX　据置きプラン
ＴＶＳウォール棚板セット

LD-BOX
オープンプラン・トールプラン共通
ＬＤ棚板セット

配線パーツ
コードクリップ

住宅部品表示ガイドラインによる表示

Ｆ☆☆☆☆

お買い上げいただいた商品は受注生産品です。
製造年月日は別添のインフォメーションシートに記載されています

お問い合わせは下記窓口で承ります

■ 構成材料

ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	Ｆ☆☆☆☆
パーティクルボード	Ｆ☆☆☆☆
合板	Ｆ☆☆☆☆
接着剤	Ｆ☆☆☆☆

お問い合わせ・ご注文、詳しい資料の請求はこちらまで

アクシス株式会社　大阪本社・ショールーム

〒550-0015　大阪市西区南堀江２丁目13番26号
TEL 06-6536-2030 / FAX 06-4391-7102
E-mail　order@ce-fit.com
0120-348-225　（フリーダイヤル）

9:00〜18:00　㊡土・日・祭

ホームページ
http://www.ce-fit.com
または セフィット で 検索

20100413